

平成31年まちづくり懇談会 顛末書

| | |
|------|---|
| 開催日時 | 平成31年1月29日(火) 18:00～19:22 |
| 会場 | 東静内会館 |
| 自治会名 | 東静内連合自治会 |
| 出席者 | <p>【町側】 大野町長、本庄副町長、坂総務企画部長、岩淵総務企画部参事監、米田住民福祉部長、渡辺健康生活部長、酒井経済部長、木村農林水産部長、上田教育部長、柴田企画課長、寺田企画課主幹 以上11名</p> <p>【自治会側】 30名(男性17名、女性13名、議員2名)</p> |

《顛末内容》

| 主 な 内 容 | |
|---|---|
| 開 会 | 司会 柴田企画課長 |
| 会長挨拶 | 東静内連合自治会長 |
| 町長挨拶 | 大野町長 |
| 職員紹介 | 柴田企画課長 |
| 資料説明 | <p>渡辺健康生活部長 1. 「脳・脊髄外来のご案内」について</p> <p>坂総務企画部長 2. 「静内庁舎の電話が変わります」</p> <p>柴田企画課長 3. 「婚活事業について」口頭説明</p> |
| 意見交換 自治会員A ・ 検診助成について ・ 開基記念行事について | <p>昨年もお願ひしたのですが、町民検診について、がん検診の対象がバリウムのみになっている。胃を手術した人は医者からバリウム検診を止められている。従って内視鏡検診を受ける。昨年は6千550円でした。バリウム検診が1千900円。少しでも補助を受けられたらと思います。</p> <p>来年は、静内開基150年を迎えるのですが、何か準備をされているのでしょうか。三石と合併したからという問題があるのであれば、静内町150年、三石町115年という形でもできるのではないかと思います。ぜひ記念行事をやっていただきたいと思ひます。</p> |
| 渡辺健康生活部長 | <p>内視鏡検査の助成の件ですが、昨年もお要望をいただきまして、担当課で協議中でございます。集団検診の場合は、バリウムが助成対象になるのですが、集団検診で内</p> |

| | |
|----------------------------|--|
| | <p>視鏡を数十本も用意するのは不可能であり、バリウム検査しかできないということをご理解をいただきたいと思います。個別受診で内視鏡を助成対象にしてほしいということだと思いますが、内部で協議を重ねておりまして、担当の保健師からは強い反対の声が上がっています。保健師の立場としては、内視鏡検査しかできない方は胃の一部を切除した経緯があるため、バリウム検査は毎年検査を受けられますが、先進地では内視鏡の助成をしているところもございます。国の指針では、内視鏡検査の場合は、2年に1回しか助成は認めないということになっています。保健師からは胃を切除した方は、かかりつけ以外の医師に内視鏡検査を依頼することは反対であり、あくまでもかかりつけの医師に検査を受けていただきたいという強い拘りがあります。事務方といろいろ協議を重ねている最中ですので、もう少しお時間をいただきたいと思います。</p> |
| <p>岩淵総務企画部 参事監</p> | <p>合併して12年目を迎えます。旧静内町におきましては、明治4年開基であり、今の段階では内部協議をしておりません。実施するとなればお知らせなどをするところだと思います。現段階では協議されておられません。</p> |
| <p>自治会員A</p> | <p>100周年をやった時は、3年前に実行委員会を立ち上げています。</p> |
| <p>自治会員B ・震災ゴミについて</p> | <p>昨年9月の震災以来、安平町、厚真町に行きまして気が付いたのがごみの問題です。災害時のごみの回収は、災害に関連したごみは20%くらいしかない。残りの80%は災害とは関係ないごみが出されている。金額を聞いて驚いたのですが、安平町だけで15億円かかるということでした。国からお金が出るかは確約できないということでした。安平町の人口が静内の3分の1くらいなので、静内で起きたら3倍はかかると思います。災害が起きる前に対応を考慮しておくべきだと思いますが、どうでしょうか。</p> |
| <p>本庄副町長</p> | <p>全国的にあのような事案になると他町から持ち込みごみが多くなります。町側は無料で処理しますと言いますが、現実的には社会問題になっていて、今は身分証明書や町民であることがわかる仕組みの制限をかけて防御策を行っているようです。当町は、いろいろなところから持ち込める仕組みにはなっていないと思いますが、もしそうなったときに人間心理で不法投棄というのは、そこにごみが放置されているというだけでごみが集まってきます。放っておくと山積みになってしまう。当町では、環境衛生協会の方が処理してくれていただいているのですが、ごみ問題というのはデリケートなものがありまして、言われていることは十分にわかりますので、有事の際の対策として、準備しておかなければならないかもしれません。</p> |
| <p>自治会員B</p> | <p>先日、生活環境課長とも話をしたのですが、今のうちに災害ごみの区別をしておかないと災害が起きてから対応しても間に合わないと思う。事前に区別できるものなのか。</p> |
| <p>本庄副町長</p> | <p>懸念されていることは大きな問題です。災害の規模にもよりますが、地震のみで出たごみ、東日本大震災の時のように津波で誰のものかわからないごみ、その時は当町にもごみ処理の依頼がきました。最終的には原発のものが混じっていたため拒否し、安全確認できなければ受け入れできないとしたのですが、当町のごみ処理場は町村で</p> |

| | |
|--------------------------------|--|
| | <p>は規模が大きい方です。それでもそのような事案になると処理しきれないと思います。埋め立ても埋立地をつくることから始まりますので、リスク管理としては、災害が起きたときにどのような処理をするかという事前の協議をしておかなければならないという認識をさせていただきました。</p> |
| <p>自治会員C ・コミュニティバスについて</p> | <p>70歳以上になりますと福祉バスが利用できます。三石地区は静内地区と浦河町を無料で行けるということですが、同じ新ひだか町民であって、私たち静内在住者はどうして100円なのですか。</p> |
| <p>米田住民福祉部長</p> | <p>三石地区も静内地区も道南バスを乗る場合は100円を払って乗るというのは同じです。また、三石地区では静内地区でいう温泉バスと医療バスをトータルしたものをコミュニティバスとして運行しています。三石の病院は国保病院しかないため、静内地区に来る日と、昔から浦河赤十字病院にかかる方が多かったため浦河町に行く日があり、この週は静内地区、この週は浦河町ということで運行しております。道南バスの100円というのは同じです。</p> |
| <p>自治会員C</p> | <p>私は、先日浦河赤十字病院に行ったのですが、三石地区の方が私は無料ですと言って乗られていましたので不思議だなと思いました。</p> |
| <p>米田住民福祉部長</p> | <p>静内地区から浦河赤十字病院へは行きません。三石地区から静内地区に行く日と浦河町に行く日が別なものですから。三石発で浦河町に行く場合は、その週に当たれば行けるということです。静内地区でいう医療バスと同じと考えてもらえば良いです。</p> |
| <p>自治会員C</p> | <p>その方は道南バスに乗られていて、それでも私は無料だと言って乗られていました。</p> |
| <p>米田住民福祉部長</p> | <p>それは勘違いだと思います。</p> |
| <p>自治会員D</p> | <p>今のバスの件ですが、私たちは蔵三までは100円で行けます。浦河赤十字病院に行くとなりましたら800円以上かかります。いくらかでも助成してもらえないでしょうか。浦河赤十字病院でしか診療できない科にかかりたいという場合もあります。蔵三でバスを降りて違うバスに乗ったらいくらか安いのかと思いますが、それもできません。そういうところの便宜を図ってもらうことはできないのでしょうか。</p> |
| <p>本庄副町長</p> | <p>今、言われていることが目からうろこというか、そこまでは想定しておりませんでした。なぜ三石地区のバスが浦河町に行ったり静内地区の病院に行ったりするかというと、過去に三石地区の海岸線以外の道南バスが廃止になった歴史的な背景がありまして、静内地区と同じように通院バスと温泉バスと両方走っていました。利用される方が少なく無駄なものですから、それぞれの目的を廃止してどのような目的でも乗っていただけるようにしました。それでも平均13人位です。先ほど申し上げたのは、週に1回、例えば、この週は本桐から三石国保病院に行って、蔵三を経由して浦河町に行くというように、病院に行きたい人も温泉に行きたい人も一緒に乗って、5つの地域に分けてこの週は浦河町へ、次の週は三石国保病院に行って、静内温泉を経由して静</p> |

| | |
|---|--|
| | <p>内地区の病院に行くというように、1週おきのパターンで運行しています。静内地区は静内温泉に行くのも満席になるくらい乗っているものですから、未だに温泉バス、通院バスとして運行しています。これから将来に向けて、JRがどうなるかということも含めて私どもが内々で検討しているのは、町のバスが20台くらいありますので、これを活用した交通体系を模索して、札幌市や苫小牧市に行くような広域のものと、町内を循環するようなものなど、いろいろなことを考えています。道南バスがありながらもコミュニティバスで浦河町まで無料で行っているのではないかとご指摘は真摯に受け止めさせていただいて、今後検討させていただく題材にしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p> |
| <p>連合自治会長 ・ダイヤルイン について</p> | <p>直通電話になるということですが、広報などの字の大きさと読めないため、この2倍くらいの字の大きなもので張っておけるものを全町に配っても良いのではないかと考えておりますので検討してみてください。</p> |
| <p>坂総務企画部長</p> | <p>改めて電話番号専用のものを検討させていただきたいと思っております。</p> |
| <p>自治会員E ・静内温泉キャン プ場について</p> | <p>静内温泉のキャンプ場の橋が破損して使用していない。早急に直してくれないのでしょうか。橋のかかっているところに魚の腹や頭が投げた。橋もないので結局人がいないから投げに行く。どうにかならないのでしょうか。せつかくあるキャンプ場で昔は双川にも奥高見にもあった。今は静内地区にはない。キャンプ場の橋をどうにかしてください。</p> |
| <p>酒井経済部長</p> | <p>昨年の暮れに魚が処理された跡があるという通報が2、3度ありまして、私どもで処理させていただきました。</p> <p>キャンプ場の橋につきましては、3年前の大雨の時に橋が傷み、キャンプ場の裏山から土砂が流出してキャンプ場として機能を果たせない壊れ方をしております。キャンプ場については、温泉が近く、町外の方や家族連れ、単身者が気軽にキャンプをすることができることで利用されていましたが、橋を直すことや土砂を除けるために数千万円のお金がかかるため、手を引いている状況でございます。</p> <p>キャンプ場は、三石地区の道の駅の裏にありますし、オートキャンプ場、キャビンもございます。町外の方も温泉が近いため利用していただいております。静内温泉の近くにキャンプ場があるのだからうまく利用してほしいというご意見だと思いますので、お金のこともありますが、橋を復旧することについてご意見を踏まえながら有効利用することを継続して考えていきたいのでご理解願います。</p> |
| <p>自治会員F ・土砂災害の避 難場所について ・防災無線につ いて</p> | <p>土砂災害の避難場所で、東静内生活館と旧静内第二中学校ですが、旧静内第二中学校はありますが業者さんが入っているの、避難した場合は鍵が開いているのか、どこの部屋が空いているのか、その辺をはっきりしておかないと分からないと思う。ここに防災無線があり放送しているのですが、はっきり聞こえない。雑音が入って聞き取れない。</p> |
| <p>坂総務企画部長</p> | <p>後段の防災無線のことからお話させていただきます。平成7年頃に整備したもので、</p> |

| | |
|--------------|--|
| <p>自治会員F</p> | <p>アナログ方式の防災無線になっています。アナログ式は平成 34 年度までしか使用できないことになっていまして、町では新たにデジタル方式の防災無線に変えたいと考え、昨年から調査を実施しています。補助金等も活用しながら整備しようと思っており、補助金の付き具合によって実施年度がずれるかもしれませんが、平成 34 年度までには整備をしなければならない。親局と町内の数か所にある中継局とトランペットスピーカーを整備したいと考えております。20 年以上使っているために老朽化しており、部品等も取り換えているのですが、本体自体の精度が悪くなっていて、東静内地区で防災訓練をやらせていただいた時に防災無線の音が聞こえづらかったという話を受けてできる範囲内で整備しているのですが、新たな無線整備ができるまでは 2 年程度かかると思いますので、その後については電波調査も行い、機器も新しくなってデジタル方式になることで感度は良くなると思いますので、もう少々お待ちいただきたいと思っております。</p> <p>避難場所の関係ですが、旧静内第二中学校につきましては、法人に貸しています。将来的には、そこを買っていただければ一番良いということで説明させていただいて、地域の方にもご了解をいただいた中で、校舎の一部をお貸ししている状況になっています。夜に開けられるかということですが、法人の機器等も入っているものですから、それはできないのではないかと思います。ただし、法人とは地域の方が使いたいときや法人側も地域の方とコミュニケーションをとっていききたいという話もありまして、最終的にそこを買っていただいたとしてもその中に地域交流スペースというものを考えているということですから、そういう部分では災害のときにも使わせていただく場合もあるということは事前にお話させていただいております。開いている時間については、使う状況に応じて可能だと思います。ただし、いろいろな災害がありまして、津波の災害については高いところに、海岸線から遠いところに避難してくださいとお話させていただいております。市街地では車の避難は避けてください、原則徒歩で避難してくださいとお話させていただいております。東静内は津波の場合は車で奥の方に避難してもらうことも可能だと思います。どうしても時間が無い場合は神社の階段もあります。津波が目の前まできているのに命は大切ですから頑張ってそういう階段を上がってもらい命を守るという行動をとっていただきたい。津波の場合は、遠くの方に逃げた後に被害の状況を見て町の方で避難所の周知をさせていただきます。防災無線は聞きづらいという部分がありますが、防災無線や携帯電話がかなり普及していますから、震度 5 以上の地震がある場合には予測で気象庁から自動的に Jアラートという危機を使って直接携帯電話に流れます。津波の場合は津波警報以上の発令が出る場合に流れます。避難所は町で携帯電話を使って周知していききたいと思っておりますし、その他にテレビで Lアラートとって各町が北海道に避難所を開設しましたという情報を伝えるとテレビに流していただけるので、そういうものをいろいろ活用しながら情報伝達していききたいと考えております。雨などの災害については、東静内地区は門別川がありますので、今の状況からは会館、生活館に避難していただくということになると思います。</p> <p>土砂災害の場合は東静内生活館、旧静内第二中学校、旧春立小学校となっていて、旧静内第二中学校はゲートや鍵は閉まっている。どこの部屋が使えるのか、はっきりしてもらわなければ、避難しても困ると思う。</p> |
|--------------|--|

| | |
|--------------------|---|
| 坂総務企画部長 | 旧静内第二中学校について状況を再確認させていただきまして、改めて自治会に状況を説明させていただきたいと思います。 |
| 連合自治会長 ・発電機について | 発電機はどの程度用意するのか。避難所は開設されても停電ということになったら困る。町内全部が停電の時はどうしようもないですが、多少の発電機を用意しておくということがあっても良いと思います。 |
| 坂総務企画部長 | L P ガスを利用した発電機を町内の主要の集会施設に計画的に設置させていただいております。27年に東静内会館にL P ガスを利用した発電機を設置させていただいておまして、設置の時に防災担当から利用方法のお話をさせていただいていると思います。全部の生活館、改善センターに設置するには相当な数になりますので、地域ごとに主要となる施設に設置しています。もし、具体的な内容を聞きたいということであれば、自治会に出向きますので、その時にその状況や使い方も併せて説明させていただきます。 |
| 連合自治会長 | この間の全道が停電になったときに、ここは一切発電機を使っていない。 |
| 坂総務企画部長 | 停電のときに地域の方が集会所に集まられたら、自分たちでできるように十数箇所整備しているのですが、その時に使い方をご説明をしながら設置しています。一日中使えるとかということではありません。ただし、カセットコンロを使うタイプよりは長く使えるようになっています。 |
| 連合自治会長 | 停電になったときには会館だけは電気がついている。そうすればテレビなどでいろいろな情報を取り入れられる。そういうものが何もない状態でしたから、そういうものがあつたと初めて知りました。 |
| 自治会員B | 発電機があるのは分かります。ただ、使う容量がどのくらいのものが使えるのか。 |
| 坂総務企画部長 | 恐らく半日ほどだと思います。 |
| 自治会員B | 発電機には必ず使える容量が決められている。何キロワットまで使えるのか。電気をつけるにしてもそれが問題だと思う。 |
| 坂総務企画部長 | 災害時に電気を全館つけるとなると容量を使いますので、最低限で使っていただくことになるかと思います。 |
| 自治会員B | 最低限といっても使う人は知識なく使ってしまうので、何ワットまで使えますと言うことを知っておかないと発電機が壊れてしまいます。 |
| 坂総務企画部長 | 発電機の容量の資料を持ち合わせていませんので、その時に改めて説明させていただきます。 |

| | |
|--------------------------|--|
| 自治会員G | <p>私が住んでいる場所は、第2町内会で橋から西側なのですが、ここに発電機が設置されていることは一度見たことがあるのですが、LPガスでやるとは知らなかった。橋が通れなくなったらここに設置してあるといっても、ここに来ることができない。発電機を生活館に設置することが可能であればお願いしたい。ブラックアウトになったときに生活館にあったら一番良いと思ったのが携帯電話の充電器です。先ほど携帯電話にいろいろな情報流すと言っていましたが、停電が長引くと電池も無くなってくる。そういう意味でも生活館に発電機を設置していただきたいと思います。</p> |
| 坂総務企画部長 | <p>町内に施設がたくさんありまして、そこに全部整備できれば良いのですが、そこまでやるとなれば相当なお金になります。まだ、全部の整備が終わっていません。主要となる施設に計画的にやっていますので、今後数年かかかりますので、今の段階で東静内生活館まで発電機を整備するという事はできないということをご理解いただきたいと思います。</p> |
| 連合自治会長 | <p>町として設置型ではなく移動式の発電機を用意しておく。緊急を要するところに持っていくことや消防車にも発電機は積んでありますから、活用させてもらえば良いと思っていますが、指示がないと勝手には使えないだろうから、そういうこともいろいろ考えて設備を何台か用意しておいた方が良いのではないかと思います。</p> |
| 坂総務企画部長 | <p>ブラックアウトになった状況は、電力会社の事情もあり長引いたということですが、今回の対応であそこまで長くなるということは、今後、あまり無いのではないかと思います。停電自体は今後も起こり得る事態ですから、いろいろな検討をさせていただきたいと思います。ただし、まだ設置していない地域がある中で計画的に整備させていただきますので、今後は移動できるものも含めて検討させていただきたいと思います。</p> |
| 自治会員H ・東静内生活館 について | <p>私は、生活館の管理をさせていただいております。生活館の床が板であり、スポーツをするのに利用価値があります。生活館を廃止するという話がありましたが、老人クラブで健康体操、カーリング、スポーツに関してのことは生活館でやるようになっています。皆さんと交流を深めてまいりたいと思っておりますので、生活館を廃止しないように考えていただければと思っています。よろしく申し上げます。</p> |
| 坂総務企画部長 | <p>新ひだか町の集会所は他の町に比べて多い状況にあります。昭和40年頃から50年頃に建設した施設で、いつかの時点で今後も継続するかどうかの判断が出てくると思います。今ある施設を全部残していくことになると、今かかっている維持費も5年経てば屋根、壁、床などで維持費がかさんできます。これを全町的に考えますと大きな経費になるのではないかとということで、できれば地域の中で核となる施設は残し、その他の施設については統廃合させてもらえないでしょうかと説明させていただいたという経過です。地域とよく話をして進めなさいという指示を受けていますので、町が一方的に進めることはいたしません。東静内もそうですが、どこの地区でも言われます。ただし、今のまま使うということは町税も減ってきていますし、交付金も減ってきているという中で、どこかを我慢しなければならぬところが出てくる中、施設</p> |

| | |
|------------------------|--|
| <p>連合自治会長</p> | <p>の数が多ということで地域の方と継続してお話させていただきたいと思います。</p> <p>何十年も前から比べて人口が減っています。その頃と比べて町職員の数は減っていますか。</p> |
| <p>坂総務企画部長</p> | <p>合併時からいきますと町職員の数は減っています。職員にかかる経費で、合併時と28年の比較では、5億円近く減っています。施設にかかる職員というのは減らせない状況になっています。特別養護老人ホームを半分の職員で運営することはできません。病院も運営するにはそれなりの人数がいるので、施設運営として職員を減らすことはできない状況にあります。ですから、事務職員については職員数を減らした中で人件費も削減している状況にありますので、従前と同じ状況でやっているということではありませんので、ご理解をいただきたいと思います。</p> |
| <p>大野町長 (閉会挨拶)</p> | <p>いろいろな話をお伺いしました。担当部長は、はっきりもの申しませんので、私からはっきり言って良いのかと思いますが、今日は町議の方が来ていないことを前提に皆さんにお話したいと思います。一番気になったのは、バスの料金の話です。これは言われる通りです。同じ町民なのに、こちらはお金がかかるというのはすごく良く分かります。そういうものは合併した中でいろいろな不都合というものがあるわけです。そういうものを変えていって、一つの町としてやっというところと頑張っていますので、特にバスの問題は、JRの話が決着ついていないものですから、先駆けて準備するために担当参事監を置きまして、地域内交通を含めて考えていくところでありますので、きちんと措置したいと思っております。</p> <p>キャンプ場の話ですが、おっしゃる通りです。昨年、いろいろな施設を見て回りました。キャンプ場は小さい時から記憶にあるところで、三石地区にはありますが、静内地区のキャンプ場に来た方もお風呂を利用できるなど相乗効果を図ることが必要だと思えます。いつ実施するかお約束はできませんが、復活させたいという気持ちは昨年から持っています。お金の話になってしまいますが、財源を見つけて橋を直してキャンプ場として復活させたいという気持ちを強く持っていますので、いつということが言えないことは本当に申し訳ないのですが、そういう気持ちがあることでご理解をお願いしたいと思います。</p> <p>発電機の話ですが、災害でいろいろとご心配をいただいていると思います。昨年の漢字が「災」と書かれています。来年度予算を役場の中で協議中でございまして、来年度予算を作るにあたって何がテーマなのかと思ったときに、備えだと思っていて、災害に備えるということも重要だと思えます。この町はお金が無いとか、お金はあります。1年で150億円のお金を役場で動かす。その他に病院や介護施設のお金を入れればかなりのお金を動かしています。150億円のお金に限って申しますと、使い道というのは全て決まっているといっても過言ではない。そこにキャンプ場の橋を数千万円かかってもできるかという、ここに当てるお金がどこかを削らなければならないという状況です。備えるという意味でも将来にかかる財政をどのようにしていくかという意味でも、皆さんに厳しいことを言わざるを得ない場面もありますが、将来を見据えるうえでは、それをやらないとできないということも現実問題なので、私も任期の中ではかなり厳しいことをやりながら、将来に向かった備えをしていきたい</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>と思っていますので、皆さまのご理解を賜ればと思っております。いろいろな話を承りまして参考になりました。皆さまの期待に応えるようにやりたいと思いますけれど、まだ、初心者マークがついておりますので、初心者マークが取れましたら全速でアクセルを踏んでまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。本当にありがとうございました。</p> |
| 閉 会 | 19:22 終了 |